

ExtraView バージョン 5.2 サーバ必要条件

推奨されるサーバ・ハードウェア

同時ユーザ数:	50 ユーザ以下	250 ユーザ	1,000 ユーザ	10,000 ユーザ
CPU 数:	1 - 2	2 - 4	4 - 8	8 +
メモリ容量:	2.0 GB 以上	4.0 GB 以上	16 GB 以上	32.0 GB 以上
ディスク容量:	30 GB 以上	50 GB 以上	200 GB 以上	500 GB 以上
別の選択肢:	別の小型サーバを使用 別の小型サーバを使用 別の小型サーバを使用			

サポートするオペレーティング・システム

- RedHat Linux AS/ES 3.0, AS/ES 4.0
- Windows Server 2000
- その他の UNIX プラットフォーム上でも動作すると思われませんが、ExtraView では直接のインストール実績がありません

サポートするデータベース

- Oracle Standard Edition v9.2, v10.2
- ExtraView データベースは Oracle がサポートしているすべてのプラットフォームでサポートされています。ただし、ExtraView は上述のリストにあるオペレーティング・システムについてのみインストールのサポートを行っています。サポート対象 OS の最新リストは www.oracle.com を参照してください。

サポートするアプリケーション・サーバ

- Apache Tomcat v5.0, v5.5

サポートする Web サーバ

- Apache v1.3, 2.0

標準インストールにおいてインストールされるその他のソフトウェア

- Java 仮想マシン 1.4, 1.5
- PERL 5.8.8 (CLI 使用の場合のみ)
- GNU C コンパイラ (自身で Apache をコンパイルする場合のみ)

注意事項

・上記推奨事項はガイドラインであり、ExtraView Corporation の対応範囲外の要因に影響を受けることがあります。例えば、オペレーティング・システムの正確なバージョンおよびコンピュータ上で動作しているユーティリティやサービス、またはデータベースの構成内容、ExtraView の有効なユーザ数、ExtraView が処理するフォーム上のフィールド数などによってサーバ・メモリ総量を増加させる必要があるかもしれません。

・上述したユーザ数は、システム上に作成されたユーザの総数であり、そのうち約3分の1が同時に稼働していることを前提としています。それ以上の稼働率が見込まれる場合は、メモリを増設してください。

・ExtraView Corporation では同時実行ユーザが50を超えるインストールの場合には、1つのデータベース・サーバと最低1つのアプリケーション/Webサーバに分けてインストールを行うことを検討するよう推奨しています。より優れたスループットやパフォーマンスが得られるという利点から考えれば、コストは少なく済みます。同時実行ユーザ数50~75人ごとに(使用状況により増減する可能性あり)、別のアプリケーション・サーバのインストールを検討してください。

・ディスクの記憶容量はインストール内の追跡対象 issue の平均件数、および非常に大きな(10MB以上)添付ファイルがある程度含まれることを想定しています。

・ディスク記憶域がRAIDアレイのように複数のドライブにまたがっていれば、パフォーマンスがより向上します。また、ハードウェア障害に備えてサーバ上のディスク・ドライブをミラーリングし、二重化を行うことをお勧めします。

・サーバのメモリ容量が多いほど、パフォーマンスが向上します。

・上述した以外のWebサーバやアプリケーション・サーバでも動作するものがあります。詳しくは、ExtraView Corporation にお問い合わせください。

・特にデータベースに精通したシステム管理者の下でExtraViewを運用することを強く推奨します。